



## 新歓まなび庵 4/4 (土)

### 「やってみたい」ゲームや実践がたくさん！ 「目的をもって活動する大切さ」をあらためて感じた

4/4(土)にラポール枚方で開催された、新歓まなび庵。新学期の激務で疲れが出る週末で、天気も思わしくない中で、用意した資料がなくなるほどの参加で、新任の先生もたくさん来られて、活気のある充実したまなび庵となりました。

#### すぐにやってみたい、ゲームや教材がたくさん

平野小の市川さんの実践報告で、初めに学級開きに子どもが和んで、たがいにつながるきっかけをつくることのできる、「おおきくなるっていうことは」などの絵本の読み聞かせ、自己紹介ビンゴなど、参加者も実際にやってみながらの取り組みを紹介。



その後も、1学期の初めの学級づくりのポイントになるクラスの「ルール作り」「朝の会・終わりの会」の具体的な進め方、班長選挙や席替え、係活動など多彩な取り組みを報告してもらえました。

#### ハウツーだけでなく、子どもへの見方、 学級づくりの見通しをもって

報告の中では、単にはハウツーだけにとどまらず、「学級運営を先生の手から子どもたちへ手放していく」「子どもたちは、放っておいてはつながらない。遊びや学習の中で関われるように仕掛けていくことが大切」

「ダメなときは毅然と叱るけど、できないことに着目するのではなく、できたこと(成長)をほめる」など、子どもたちへの見方や学級運営の見通し、考え方を持つ大切さに話が及びました。

- 学級経営の在り方や、5分のできるミニゲームなど、「やってみたい！」と思えるものがたくさんありました。昨年度、うまくいかなかったので、今年度は、新しいことにどんどん挑戦していきたいです！
- すぐに使える実践的なものがたくさんあり、ありがたかったです。特に班長選挙、今日の頑張り屋さんコーナーの2つについては、4/8以降実践してみたいと思います。
- 「放っておいたままではつながらない」という言葉を聞き、教師が意図的に活動することの大事さをあらためて感じました。

#### 先生どうしがつながりあい、学びあう大切さ

話の終わりには、「私もはじめのころは、クラス指導が大変で声をからしていた。組合やサークルの学習会に参加して、たくさん学んで、他の先生とつながることで頑張ることができた」と自身の経験から先生同士のつながり合い、学び合いの大切さを強調されました。

参加した先生方からも、ぜひクラス開きや学級づくりで実践してみたいと沢山の声がかけていました。

## 大阪教育文化センター第36回共同研究集会

### 今回は「デジタル学習指導要領」に？

### 先生と教育、授業がすべてデジタルで管理・支配に！？

3月22日(日)にたかつガーデンで、大阪教育文化センター主催の共同研究集会が開催され、この間マスコミ、テレビなどの特集、報道番組でも発言や研究内容が紹介される田中康寛さんが、ICT・タブレット教育から拡大する「教育DX」の本質や、時期学習指導要領で検討される「デジタル学習指導要領」の危険な問題点についての報告が紹介され、参加者の大きな反響を呼んでいました。

#### 世界で大きな流れに、スウェーデン、フィンランドはじめ学力低下、問題行動多発 タブレット端末、ICT の子ども制限、紙の教科書・基礎学力への回帰

日本ではタブレットやICT教育がもてはやされ、どれだけ多く授業で活用しているかが、「先進的な取り組み」として評価される風潮がある一方で、日本のマスコミであまり大きく取り上げられないのが先進的なICT、デジタル教育を進めてきたとされる欧米諸国の実情。

田中さんは、欧米諸国のマスコミの情報を直接調べる中で、スウェーデン、ノルウェー、デンマークやニュージーランドはじめ多くの国で学力低下が顕著になり、暴力行為や不登校などの学校での問題行動が深刻になっている実態に触れ、多くの国で、デジタルから紙の教科書、教材への回帰や、基礎学力重視の教育へ大きく舵が切られていることを紹介。これからデジタル教科書、全面的な教育DXを進めていく日本との違いを取り上げました。

#### 日本は、民間企業が子どもの学習生活データを収集、活用をすすめ

#### 「デジタル学習指導要領」で先生の授業、教材、指導案まで管理、統制の体制に

一方日本では、タブレット、デジタル教育の導入は地域、学校間に格差があるものの、文科省によって全面的に推進され方向が強められています。

現在、文科省の中教審という審議会で次期学習指導要領の検討が進められており、その中で学習指導要領を「デジタル化」する計画が進められています。

学習指導要領は内容が膨大で、複雑、難解なものになっていますが、デジタル教科書と学習指導要領の内容、項目をリンクさせ、教材、指導案、指導計画や評価も含めて、文科省が収集・管理するデータベースから必要なものが、クリックするだけで引き出せる仕組みをつくらうとしています。

一見教師にとっては、授業準備が軽減され便利になるように思えますが、子どもの興味関心や、目の前の子どもの実態にかみ合わない、かけ離れた、パッケージ化されたものしか授業ができなくさせられる懸念が大きいものになっています。

#### デジタル依存の学校の代償 欧米の苦い教訓

#### 先生たちが授業の力量、スキルが失われてしまう

欧米でデジタル教育の問題から、紙の教科書、基礎学力重視の教育に回帰せざるを得なくなった学校現場で深刻なのは、デジタルシステムに頼りすぎてしまい、先生たちに授業で子どもたちの興味を高め、学習を深めたり、定着させていくスキルはすでに多くの学校で失われてしまっている実態。

PC活用の中で筆記体が廃れたアメリカで、教育効果、学力向上の必要性から義務付けが広まり始めているものの、先生に教えるスキル不足に直面しているとされます。

今後日本でも、タブレット、ICTに依存しすぎて、教えるスキルや力量が失われかねません。

# トランプ大統領の国際法無視の武力攻撃、暴言による脅し 「何も言わない大人たち」と「目先の国益優先」の高市首相 子どもたちはどう思い、どんな大人になって行くのだろう

イスラエルとアメリカが続けるイランへの攻撃は激しさを増し、多くの犠牲性と国土やインフラの破壊が進められ、イランに対し、「地獄を見る」「石器時代に戻してやる」と、一国の指導者として考えられない暴言を毎日あびせています。アメリカ・イランでの停戦合意も報道されるものの先行きが極めて不透明です。



ネタニヤフ首相、トランプ大統領ともに「力による平和」を公言してはばからず、自国の利益や目的の達成のためには、圧倒的な軍事力で破壊や犠牲を出すことを全く意に介していない言動が続いています。

## 高市首相 「世界中に平和と繁栄をもたらせるのはドナルドだけ」

## メローニ・伊首相 「今回は意見が違う」「米軍基地使用拒否」「国際法の範囲外」

高市首相は、イラン攻撃は始まったさなかにアメリカで日米首脳会談にのぞみ、イラン攻撃の国際法違反に一切触れず、11兆円の対米投資を手土産に、「世界中に平和と繁栄をもたらせるのはドナルドだけ」と持ち上げて日本への風当たりを回避。あまりの迎合姿勢に「ゴマすり」と海外メディアから批評されました。

一方、イギリス、ドイツ、スペインもイラン攻撃に参加しないことを表明、国内の米軍基地使用を拒否、トランプ大統領と友好的で知られたメローニ伊首相も「今度は意見が違う」と基地使用の拒否やイラン攻撃は国際法の範囲外とアメリカの攻撃を批判までしています。

不十分ながらもアメリカの行動を批判し、距離を置くヨーロッパと、トランプ大統領機嫌を損ねることなく、目先の利益を確保するため「うまく立ち回る」高市首相の対照的な対応が浮き彫りになっています。

## 子どもたちは何を思い、どんな大人になって行くのか？

目をそらしたくなるようなテレビの報道や、SNSの情報が子どもの目に触れる状態で続いています。

特に、目の前の事態に「何も言わない大人」、アメリカからにらまれて、目先の利益を優先しうまく立ち回るのがかしいやり方と平然としている政治家を見て、子どもたちはどんな大人になって行くのか、

本来人間どうしの信頼、たがいの人格を尊重した関係づくりが求められる学校で、先生たちは、どうしていけばいいのか、多くの人が心の中でもどかしい思いを抱えています。

## 世界で、日本で広がる「イラン攻撃やめろ」のデモ

### 先生たちも、ともに戦争と平和を語り合い、声を上げよう

日本のマスコミはほとんど取り上げない中、アメリカでは「NO KING(王はいらない)」とトランプ大統領に抗議する集会在全米で大きな広がりを見せ、日本でも3/25の国会前の2万5千人集会をはじめ、連日抗議の集会在東京や全国で繰り広げられています。

子どもたちに毎日接する先生たちであるからこそ、もっと目の前で起きている、教育が目指しているものとは全く食い違う現実について、考え、語り合い、声を上げていくことが重要です。

先生たちも戦争と平和を語り合い、声を上げるためにも、5/3(日)の「戦争法反対、平和憲法守れ大阪総がかり集会」に、みんなで参加して声を上げていきましょう。



# 4月スタートして、「実質2日ほど」で子どもと対面 4月忙しすぎ！！これでは体もメンタルも持ちません💧

4月1日から新年度の始まりで連日の会議、準備、引継ぎに追われ、怒涛の入学式、始業式。そのあとすぐに授業、学級活動がスタート、一方で先生たちは年間の分掌の計画、方針、研修予定、行事計画準備にと、1年の学校の仕事のほとんどを4月初めに詰め込んでの仕事に。

例年4/4小学校、4/5中学校入学式のところ、土日の関係でそれぞれ4/6、4/7にずれたとはいえ、入学式までの先生の「業務日」は全く同じ。4/1は辞令交付で午後に新採用者着任、4/3は小学校入学式準備で、実質2日ほどで、子どもと対面して新しい学校生活のスタートを余儀なくされます。

組合でもこの間、近隣他市に比べても、余裕がなく忙しすぎる日程の見直しを市教委に要求し続けています。

先生たちは、5時以降も残って仕事、土日にも学校へ行かざるを得ない人もあちこちで聞かれます。

働き方改革の加速が文科省からも強調される中で、近隣他市の中で、守口市の動きは注目されるようです。

枚方市も、抜本的な業務見直し、ゆとりの中で先生たちが子供と向き合い、授業準備に十分な時間をかけられるよう、早急に新しい「働き方改革推進プラン」を策定するとともに、入学式、始業式の見直しの検討を進めることが求められます。

## 近隣の2026年度入学式日程

	小学校	中学校
枚方市	4/6(月)	4/7(火)
豊中市	4/7(火)午前	4/7(火)午後
吹田市・高槻市	4/7(火)	4/8(水)
守口市	4/8(水)午前	4/8(水)午後
八幡市	4/8(水)	4/9(木)
京都市	4/10(金)	4/9(木)

※守口市は昨年まで(小:4/5(土)、中:4/6(日))

## 第2回まなび庵

# 「楽しみながら生きる力を育てる自立活動」(仮)

5月9日(土) 14:00～ ラポールひらかた 3F 第1研修室

子どもたち一人ひとりの実態は異なり、抱えている困難さも千差万別です。「集団になじめない」「気持ちの切り替えが苦手」「手先が不器用」……。その子に今、本当に必要な指導は何なのか。

どうすれば楽しみながら、生きる力を育むことができるのか。先生方の「引き出し」を増やし、明日の授業づくりに生かせるアイデアや教材がたくさん。支援学級だけでなく、クラスの学級活動にも生かさせます。

## バイク通勤者の3割が「無保険状態」？

## 大教済バイク保険、事故発生から先生を守る対応

多くの先生たちが利用するバイク通勤。しかし、わずかな補償しかない自賠責保険だけでほとんど「無保険状態」の人が3割に上るとされます。自動車保険の「バイク特約」も、125CC未満までが多いのが実態。

もし事故となれば、多額の賠償金だけでなく、教員免許取り消し、失職の可能性もあるのがバイクはじめとした教職員事故の危険性。

大教済のバイク保険なら、事故発生時から先生の身分を守る対応が受けられるほかにはない保険です。ぜひ、加入を。大教済、全教共済のバイク、自動車保険は右のQRから。⇒

